

## 2024年度 第4回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 2025年2月26日(水) 12:30~14:30
2. 開催場所 : DAYS 赤坂見附 貸し会議室(東京都港区赤坂 3-9-1)
3. 委員の出席 : 委員総数 7名 / 出席委員数 7名  
出席委員氏名 : 瀬戸純一委員長、関沢英彦委員、天城鞠彦委員、中浩正委員、酒井順子委員、服部洋之委員、森川雅博委員

放送事業者側出席者氏名 :

＜株式会社東北新社メディアサービス＞

筋野茂樹

＜株式会社スーパーネットワーク＞(Super! drama TV HD)

高橋宏昭代表取締役社長、田中充常務取締役、額田大介 編成チームマネージャー、  
小池田慎二 編成チームサブリーダー、(事務局)坪井幸一郎、城謙一、緑川玲香

4. 審議対象チャンネル : Super! drama TV HD

5. 議題 : 番組審議

＜審議対象番組＞

- ・「モーツァルト・イン・ザ・ジャングル」【吹替版】
- ・「ジェームズ・メイの世界探訪: 日本編」【吹替版】

6. 審議内容

＜「モーツァルト・イン・ザ・ジャングル」【吹替版】について＞

- ・モーツァルトのような天衣無縫の若者がジャングルのようなクラシック音楽の世界に飛び込んで様々な展開をするストーリーは十分に楽しむことができた。
- ・オーケストラは様々なドラマが生まれる土壌が豊かにあり、そういうところを凄く活かしたドラマ展開。伏線も仕込まれている感じがあり、この先も楽しみ。演奏シーンがリアルでそれを聴く楽しみもある。
- ・音楽とドラマがどのように組み合わせさせていくのか上手く処理されていけば面白い展開になっていくのではという期待を持たせてくれるドラマ。
- ・クラシック音楽のオーケストラ版「フェーム」という印象。色々紆余曲折あるのだろうなという興味を駆りたせる初回。
- ・社会的な事象を上手く放り込んでいて、ターゲットがデモグラ的な広い世代が楽しめる作品。
- ・主たる筋、指揮者の筋じゃないサブの筋をちゃんと追えるかなという懸念がある。アジア系のプレイヤーがほとんど出てこないところが残念。
- ・色々エピソードがあり過ぎて1話だけだとわかりにくい、次に繋ぐというところでは良い。

＜総括＞

結構好みがわかるのではと思ったが、委員からは比較的高評価の印象。

### ＜「ジェームズ・メイの世界探訪：日本編」【吹替版】について＞

- ・国際的な関係を考える際の出発点になるかもしれないと考えさせられる点で非常に面白い番組。
- ・車を自分で運転して移動というのがこの番組の特徴だと思うが、飛行機で点と点をつなぐというよりは、点と線で移動して見ていくというところがこれからも期待できる。
- ・ジェームズ・メイのキャラクターが割と好感を持てるので楽しめた。
- ・まったく日本を知らなかった外国人が少しずつ日本人の感覚に似てくるのか興味を持った。日本と外国のカメラクルーが撮影する画像の違いが面白かった。
- ・意外に若い人たちにこの番組はすんなり入ってくるかもしれない。企画自体がとても興味深い。
- ・インバウンドの関係者にはヒントが詰まっていて凄く良い番組。運転シーンとジェームズ・メイが言うことのギャップが良かった。
- ・大概面白く、1話だけでも十分楽しめる。2話目 3話目にも期待したい。

### ＜総括＞

インバウンド関係者とかにヒントになりそうなのが沢山ありそうな番組。

### ＜事業者回答＞

今後の番組編成の参考にさせていただく。

以上

## 2024年度 第5回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 2025年 3月 21日(金) 15:00～17:00
2. 開催場所 : 株式会社東北新社 会議室(東京都港区赤坂 4-8-10)
3. 委員の出席 : 委員総数 7名 / 出席委員数 5名  
出席委員の氏名 : 小池保 委員長、渡辺祥子 委員、渡辺純一 委員、藤森益弘 委員、明智恵子 委員  
欠席委員の氏名 : 谷口恭子 委員、横山宗嘉 委員

放送事業者側出席者氏名 :

＜株式会社東北新社メディアサービス＞

漆原 弘子 代表取締役社長

＜AXN 株式会社 ザ・シネマ事業部＞

榎本 豊 ゼネラルマネージャー、(事務局)小林 淳

4. 審議対象チャンネル : ザ・シネマ HD

5. 議題 : 番組審議

＜審議対象番組＞

・新録吹替 映画『ジュラシック・ワールド【ザ・シネマ新録版】』

6. 審議内容

■榎本 GM より番組制作の考え方、およびプロモーションでの実績や放送での成果について説明後、審議に入った。

- ・SNS でこれほど反響があったことに驚いた。
- ・アクションが中心でテンポも早い作品のため、吹き替え版だと視聴し易かった。ただし必ずしもなんでも吹き替え版が良い、ということではない。
- ・字幕版が映画の王道だという考えだが、吹き替えも映画の楽しみ方のひとつであるというように思った。
- ・久しぶりに吹き替え版で映画を視聴したが、楽しさと新鮮さを感じた。
- ・SNS での大きな反響について、詳細な内容をしっかり分析することが重要である。
- ・吹き替えの良さを再認識した。
- ・吹き替え版をチャンネル誘導のプロモーションの軸にする戦略について一定の効果があった。
- ・審議会での議論も踏まえての、これまでの取り組みが実を結んでいるという印象。

＜事業者回答＞

- ・頂いたご意見を真摯に受け止め、今後の番組編成の参考にさせていただく。

以上

## 2024年度 第6回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 2025 年 3 月 27 日(木)
2. 開催場所 : 株式会社東北新社 会議室(東京都港区赤坂 4-8-10)
3. 委員の出席 : 委員総数 7 名 / 出席委員数 5 名  
出席委員 : 芥川麻実子委員長、中嶋貞治委員、武内智雄委員、岩本昭治委員、  
岩佐陽一委員  
書面参加の委員 : 中町綾子委員、村本理恵子委員

放送事業者側出席者氏名 :  
＜株式会社東北新社メディアサービス＞  
倉元健児取締役 ※書面参加

放送事業者側出席者氏名 :  
＜株式会社ファミリー劇場＞(ファミリー劇場 HD)  
筋野茂樹代表取締役社長、渡邊潔巳 GM

4. 審議対象チャンネル: ファミリー劇場 HD

5. 議題 : 番組審議  
＜審議対象番組＞  
・「志村でナイト」

6. 審議内容

＜「志村でナイト」について＞

- ・志村さんが大切にしていたであろう、テレビ的(生の)お笑いへの志向が貫徹されていたと分かる番組でもありました。テレビのお笑い番組を考える上でも貴重な作品ではないか
- ・画面の中では志村イズムを発揮して楽しそうで、あたかも彼が生きているような感じがした。
- ・志村力というか包容力みたいなものが相手の良さを引き出し、コントもトークも安心して見られた。
- ・現在でも下品にならない明るいお笑いで、今のテレビに必要な家族で見られる番組として安心感があり、ファミリー劇場だからできる番組選択だと感じた。
- ・今じゃなきゃ受けない事を狙うのではなく、無理して笑いを引き出していないので、とても自然で楽しい気持ちにさせてくれる番組であり、ファミリー劇場という名前にふさわしいコンテンツだったと思った。
- ・昭和のテレビ文化を知らない世代が増えており、番組を見る事でその時代を作り出した多くのクリエイターの作品を知ることは、これからのコンテンツ創りや番組視聴にとっても非常に意味があり、貴重なことだと考える。

<番組編成についての意見交換>

- ・加入者減少は致し方ない流れの中にあると思うが、過渡期でもあるのでファミリー劇場ならではの魅力を伝える工夫を継続してほしい。
- ・物価高で有料放送に使うお金が減ってきているのではないか。
- ・映画やスポーツも含めてエンタメのあり方も変わってきているが是非ファミリー劇場は現在の路線を続けていただきたい。
- ・古い作品も良いが、背景を知らない世代が増えてきているので、ジェネレーションギャップを埋めるようなトーク番組があってもいいと思う。
- ・今の地上波では見られない番組も多いので、逆手にとって強みと思い続けて欲しい。
- ・ドリフ結成 60 年は歴史を感じさせる編成の打ち出し方で貴重だと思った。
- ・ドラマの良作ばかりがラインナップされている編成なので、そのよさを大いにアピールしていただきたい。
- ・「昭和のテレビ文化」という切り口で「人」軸での編成など、ファミリー劇場ならではの企画ができるのでは、と考える。人軸とその人物の紹介で昭和のテレビ文化の語り部になる、そんな可能性を感じた。

<事業者回答>

- ・今後の番組編成の参考にさせていただく。

以上